

## 令和4年度 第1回

# 鳥栖市文化財保護審議会

### 1. あいさつ

### 2. 議 題

- (1) 令和3年度事業報告 ..... 2
- (2) 令和4年度事業計画 ..... 12
- (3) その他

日 時 令和4年5月18日(水)  
午後1時30分～

場 所 鳥栖市役所南別館2階会議室

## 鳥 栖 市 教 育 委 員 会

# 鳥栖市文化財保護審議会委員名簿

委員任期 令和3年10月1日～令和5年9月30日

氏名	専門分野	所属
会長 藤瀬 禎博	地域史	鳥栖郷土研究会会長
副会長 金子 信二	民俗芸能	佐賀県文化財保護審議会委員
委員 宮島 敦子	中世史	佐賀大学名誉教授
委員 吉田 洋一	近世史	久留米大学文学部教授
委員 大森 洋子	建造物	久留米工業大学工学部教授
委員 石山 勲	考古	元九州歴史資料館学芸課長 日本考古学会会員
委員 重藤 輝行	考古	佐賀大学文化教育学部教授
委員 黒田 達也	地域史	鳥栖中学校教諭 佐賀県文化財パトロール員
委員 中島 しょう子	地域史	基山の歴史と文化を語り継ぐ会事務局 日本民俗学会会員

# 1. 令和3年度事業報告

## (1) 調査

- ① 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為 154 件について事前審査を行い、48 件の確認調査を実施した。
- ② 本川原遺跡(姫方町)において本調査を実施した。
- ③ 勝尾城筑紫氏遺跡葛籠城跡地区(山浦町)において重要遺跡確認調査を実施した。
- ④ 令和2年度本調査を行った四ツ木遺跡(曾根崎町)の発掘調査報告書「四ツ木遺跡6区」(鳥栖市文化財調査報告書第98集)と平成31年度・令和元年度の文化財事業の概要を記した「鳥栖市文化財年報2019年度版」を刊行した。

## (2) 保護・管理

- ① 指定文化財(国3件、県2件、市他41件)等の管理を、所有者や地元団体に委託又は、補助を行い、保護に努めた。
- ② 史跡等の管理として赤坂古墳や剣塚古墳などの下草刈りなどを行った。
- ③ 広及舎跡・槍突き岩(刺寄決戦場)の説明板の修繕を行った。
- ④ 装飾古墳のヒヤーガンサン古墳で、温湿度変化のデータ収集、目視による環境観察を行った(平成22年12月から継続)

## (3) 普及・啓発

- ① 装飾古墳のヒヤーガンサン古墳の公開を行い、年間56人の見学があった。【写真：A】
- ② 鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座「鳥栖の集落と交通」を全7回開講し、合計213名の参加があった。【写真：B】



A. ヒヤーガンサン古墳公開



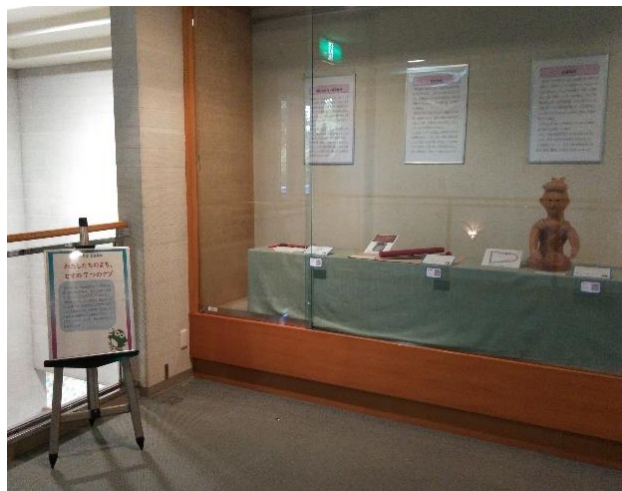
B. 鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座

- ③ 市民一般を対象に、市誌編纂のため収集した古文書をテキストにした古文書を解説する講座を20回開講し、合計371人の参加があった。【写真：C】
- ④ 勝尾城筑紫氏遺跡を核とする地域の歴史と文化財を活かしたまちづくりを市民と協働して目指す「ふるさと元気塾」を開講し、ボランティアガイドの育成を行った。
- ⑤ 鳥栖市立図書館において、文化財展示を行った。【写真：D】

	タイトル	期間	内容	来場者数
1	常設展示 国史跡勝尾城筑紫氏遺跡 - よみがえる戦国時代の山城と城下町跡 -	前年度～7月20日(火)、 9月1日(月)～ 11月2日(日)、 12月6日(月)～ 次年度継続	概要を記したパネルと出土遺物の展示	650名
2	企画展示 わたしたちのまち、とすの7つのナゾ	7月21日(水)～ 8月31日(日)	鳥栖市ゆかりのさまざまな考古、歴史資料を小・中学生向けに展示	200名
3	企画展示 令和の発掘速報展	11月3日(祝・水)～ 12月5日(日)	令和元年～2年度に発掘調査を行った、5遺跡の調査成果を紹介	150名



C. 古文書講座



D. 企画展示「わたしたちのまち、とすの7つのナゾ」

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い268号機関車一般公開、小・中学校教育における総合的な学習支援などは中止した。

#### (4) 勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡の整備・管理の一環として、史跡内の樹木伐採・下草刈り・倒木の処理を行った。
- ② 遺跡見学会を春（4月18日）と秋（11月28日）の2回行い、春は45名、秋は40名の参加があった。【写真：E】
- ③ 福岡女学院大学との連携協定の一環として、7月19日に講座および葛籠城跡（山浦町）での現地研修を行い、計20名の参加があった。
- ④ 平成30年・令和元年の豪雨災害により被災した、筑紫氏館跡地区の災害復旧工事を行った。【写真：F】
- ⑤ 市民活動団体九千部クラブと協働で「県民参加の森林づくり事業 - 山城の森づくり体験 -」、「さが緑の基金事業 - 森林保全作業の安全講習 -」を実施し、合わせて75名の参加があった。
- ⑥ ドローンによる遺跡のPR動画撮影を行った。

動画は市役所ホームページにて公開しています。

紹介ホームページ

URL : <https://www.city.tosu.lg.jp/soshiki/26/40131.html>

右側のQRコードからも入れます。



E.勝尾城筑紫氏遺跡見学会（春）



F.筑紫氏館跡地区災害復旧工事

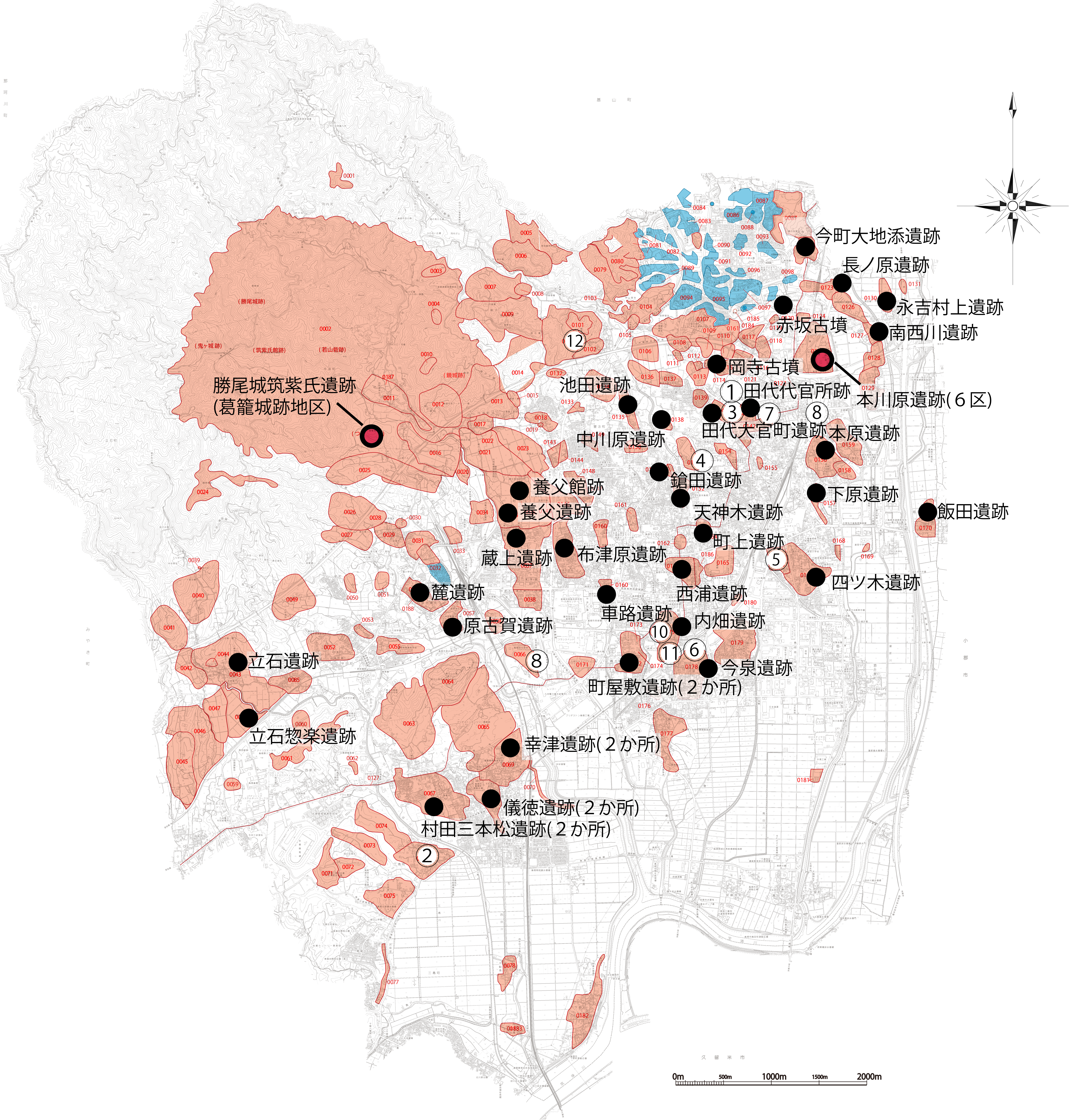
#### (5) 会議

- ① 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会は、1月18日に開催し、葛籠城跡地区の確認調査地点、筑紫氏館跡地区の災害復旧工事地点の現地視察、史跡の活用・保全管理業務の報告を行った。

### 令和3年度確認調査により遺構・遺物を検出した地点

	遺跡名	原因者	開発目的	開発予定地	工事面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期日	結果	備考
1	田代代官所跡	鳥栖市	仮設校舎建設	田代上町301-1	1,900.00	52.00	令和3年8月3日	溝	遺構に影響を及ぼさな いため慎重工事
2	江島遺跡	民間事業者	有無の照会	江島町2388-1他	3,523.00	140.00	令和3年6月24日	溝・土坑	計画決定後、届出
3	田代代官所跡	民間事業者	建売住宅	田代上町304-1	423.00	15.00	令和3年7月14日	小穴	遺構に影響を及ぼさな いため慎重工事
4	藪原遺跡	民間事業者	有無の照会	田代外町705-3	226.00	10.00	令和3年7月14日	小穴	遺構に影響を及ぼさな いため慎重工事
5	曾根崎城跡	民間事業者	建売住宅	曾根崎町1271-1他	779.00	30.00	令和3年7月21日	溝・小穴	遺構に影響を及ぼさな いため慎重工事
6	今泉遺跡	民間事業者	有無の照会	今泉町2537-2,2560-8	540.80	16.00	令和3年7月21日	溝・小穴	遺構に影響を及ぼさな いため慎重工事
7	田代代官所跡	中原特別支援学校	仮設校舎建設	田代上町301-1	388.00	24.00	令和3年8月4日	溝	遺構に影響を及ぼさな いため慎重工事
8	周知外(姫方町)	民間事業者	有無の照会	姫方町370-1	13,115.00	80.00	令和3年11月22日	小穴	遺構に影響を及ぼさな いため慎重工事
9	外精遺跡	民間事業者	有無の照会	轟木町1893-1,1902	1,245.00	38.00	令和4年1月21日	土坑	計画決定後、届出
10	内畑遺跡	民間事業者	有無の照会	元町1124-2	728.18	42.00	令和4年2月15日	甕棺墓	計画決定後、届出
11	内畑遺跡	民間事業者	有無の照会	東町3丁目	920.05	40.00	令和4年2月28日	溝	計画決定後、届出
12	門前古墳群	民間事業者	有無の照会	神辺町1142-2他	6,725.00	—	令和4年3月4日	古墳2基	計画決定後、届出

# 令和3年度市内確認調査および本調査、重要遺跡確認調査位置図



ほんごうらいせき  
本川原遺跡(6区)

【所在地】 姫方町 513-1 他

【遺跡の時代】 弥生～奈良時代

【種類】 集落跡【調査面積】 8,000 m<sup>2</sup>

【事業の原因】 工業用地造成

【調査の期間】 令和3年5月10日～令和4年3月18日

【調査の概要】

本遺跡は、鳥栖市の中心部より北東、柚比丘陵の最南端に位置し、標高約23～25mである。調査以前は畑地として土地利用されていた。

本遺跡の調査は、昭和48年の1次調査(1区)以降、49年、54年、56年、平成2年と実施されており、本調査は6次調査(6区)となる。過去の調査から縄文時代～中世の遺構が確認されている。

調査の結果、弥生時代末期～古墳時代初頭の竪穴住居14軒、6世紀末～8世紀の竪穴住居を7軒と大きく分けて2つの集落を確認した。その他複数の大型土坑、小穴を検出した。その他1次調査で確認された方形周溝墓2基の痕跡を確認した。

令和4年度に実施する整理報告書作成作業では、出土した遺物から、各時代の集落様相を解明していきたい。



7月30日撮影調査区全景(南東から撮影)





2月25日撮影調査区全景(右が北)



左：竪穴住居跡(SH280)完掘状況

右：1次調査1号墓の周溝痕跡

かつのおじょうちくしし いせき  
勝尾城筑紫氏遺跡（葛籠城跡地区）

【所在地】牛原町・山浦町・河内町地内

【遺跡の時代】中世

【種類】城館【調査面積】153 m<sup>2</sup>

【事業の原因】重要遺跡確認調査

【調査の期間】令和3年10月1日～令和4年2月28日

【調査の概要】

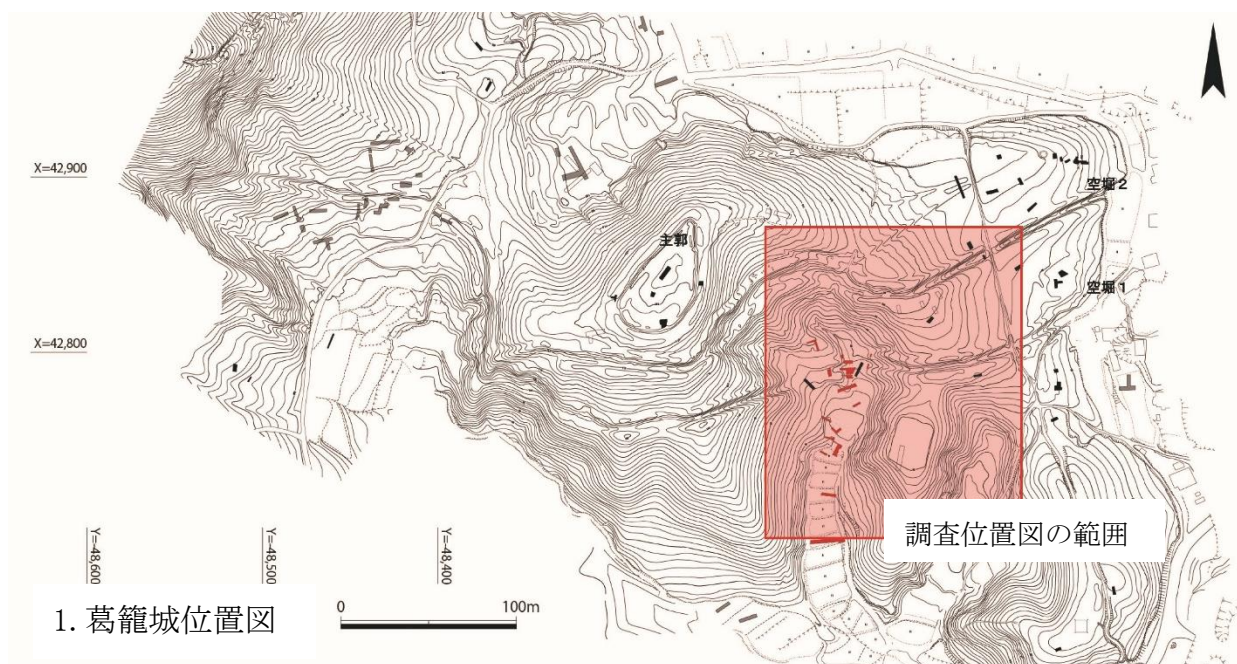
葛籠城は、本城の勝尾城の南東に築城された支城の1つで、防備の最前線に位置し、二重の長大な空堀（長さ約700m、幅約5m、深さ約5mのV字形）で構成される。葛籠城跡の確認調査は、平成8・16・26・27年度、令和2年度に実施している。

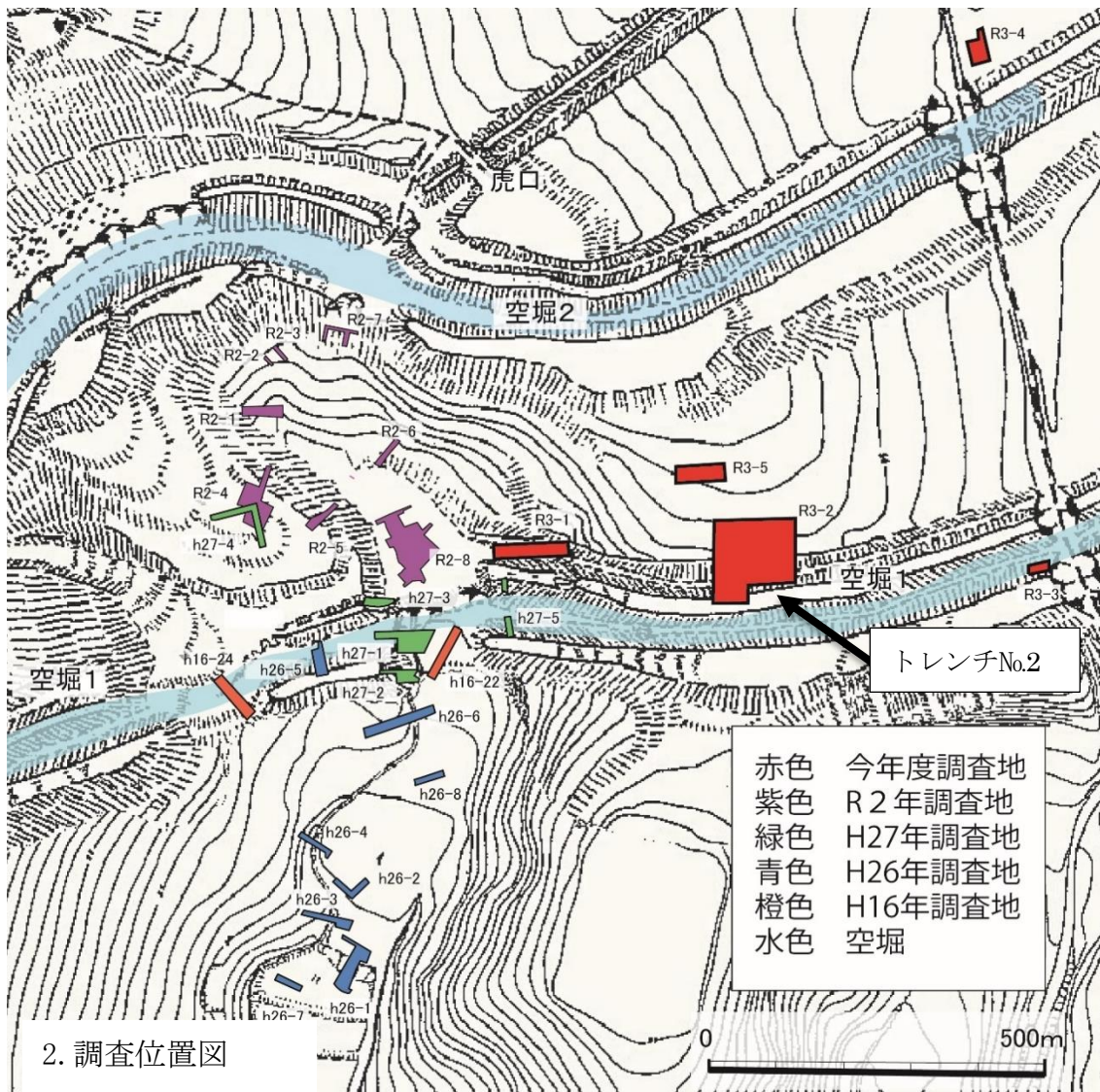
今年度の調査は、空堀1の北側に小規模な堀状の窪みが付帯しているため、この窪みが守り手側の通路の可能性があるため、その内容の把握と享和元年（1801）作成の「養父郡東部図」（県立図書館所蔵）に、葛籠城の詳細が記録されており、その絵図には、2条の空堀を縦断する南北に走る直線道が描かれており、この直線道と空堀の関係を明らかにするため、トレンチを設定し調査を行った。

今回の調査では、空堀1の北側土塁に付帯する窪みを掘り下げた結果、硬化面を確認し、硬化面の一部は不規則であるが階段状になっている箇所もあった。

このことから、葛籠城に伴う通路的な遺構として判断でき、葛籠城の内部構造の新たな一端を窺うことができた。

また、上記の現直線道と「養父郡東部図」の絵図との関係については、トレンチの土層状況より、この直線道は空堀1を埋めて造成していることが明らかとなった。このことから、勝尾城の廃城後から享和元年（1801）までに造成された道路であることが判断された。





## 2. 令和4年度事業計画

### (1) 調査

- ①市内各地に分布している埋蔵文化財について、開発に際し事前の確認・試掘調査を実施して開発との調整を図り、その保護に努める。
- ②開発に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施し、整理・報告書を刊行する。整理・報告では、令和3年度に調査を実施した本川原遺跡の整理・報告書刊行を行う。
- ③文化資源充実事業について、可能なところから調査や資料の収集を行う。

### (2) 保護・管理

- ①文化財の保存管理として、国・県・市指定文化財を中心に史跡・民俗芸能等に対し、所有者や地元団体に委託あるいは補助金の交付を行うとともに、道具類の補修・新調に対する助言等を必要に応じて行い、これらの保存に努める。
- ②史跡等の保全管理について、下草刈りや雑木の伐採、あるいは案内板の点検等を適時行い、見学者の利便を図る。
- ③過去の調査で出土した遺物類や記録、あるいは市誌編纂事業の過程で収集した資料の取り扱いについて、整理を進めるとともに、保存活用方法の検討を行う。
- ④整理室の再編と収蔵遺物の再整理を継続して行う。

### (3) 啓発・普及

- ①文化財常設展示を鳥栖市立図書館で継続して行う。

	タイトル(仮)	期間(予定)	内容
1	みんなの町のお宝しょうかい!	7月下旬～ 8月末	市内8校それぞれの小学校区で出土した埋蔵文化財を小・中学生向けに展示する。
2	大川をめぐる攻防	11月上旬～ 12月中旬	江戸時代、対馬藩田代領・佐賀藩・久留米藩の大川(筑後川)治水政策とその経過について絵図・史料を用いて紹介する。
3	国史跡 勝尾城筑紫氏遺跡 - よみがえる戦国時代の山城と城下町跡 -	上記期間外	概要を記したパネルと出土遺物の展示

- ②ヒャーガンサン古墳・268号機関車等の一般公開、勝尾城筑紫氏遺跡の見学会等の開催、小中学校における総合的な学習の支援、一般向けの出前講座等により、広く郷土の歴史・文化や文化財の周知・理解に努める。

- ③市民を対象にした「鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座」「郷土資料講座」を開講する。  
歴史・文化講座は、「鳥栖の集落と交通（仮）」をテーマとして全7回の座学や現地見学を行う。郷土資料講座は、市内の古文書を教材として初心者コースを開講する。
- ④歴史と文化財を活かしたまちづくりを目指して、市民と協働した「ふるさと元気塾」を開講し、史跡ガイドの育成等に努める。
- ⑤鳥栖市歴史・文化交流発信施設をサンメッセ鳥栖に整備する。今年度は基本構想・実施設計を行う。

(4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ①史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区の公有地化を進める。
- ②勝尾城跡地区を中心に危険木の伐採や葛籠城跡地区の下草刈など史跡の保全管理を行う。
- ③平成30年度に災害が発生した葛籠城跡地区の仮復旧地点の防災施設工事をを行い、史跡内の防災対策を進める。
- ④史跡の積極的な公開活用の方策について検討を進める。
- ⑤館跡地区の基礎資料蓄積のため確認調査を実施する（2か年計画の1年目）。
- ⑥策定から10年を経過した史跡整備基本計画の改訂内容の検討を行う。

